

東京・海の森 アクアスロン2024

大会プログラム(最終要項)



開催地 **海の森水上競技場**

開催日 **2024年6月16日(日)**

雨天決行

主催 **一般社団法人 東京都トライアスロン連合**

最終要項目次

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ■ ごあいさつ P.2 | ■ 熱中症対策について P.6 |
| ■ 大会概要・大会役員 P.3 | ■ その他(昼食・補償・トイレ他) P.6 |
| ■ 当日のタイムスケジュール P.4 | ■ 大会参加の方へ P.7,8 |
| ■ 競技距離・表彰対象 P.5 | ■ 出場選手スタートリスト P.9~12 |
| ■ 競技に必要な物・支給品 P.5 | ■ 競技コース P.13 |
| ■ 大会(競技)実施の決定等 P.5 | ■ 会場周辺MAP・アクセス・連絡先 P.14 |

スポーツくじ



本大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されています。

ご挨拶

公益社団法人
日本トライアスロン連合(JTU)会長
岩城 光英



日頃からトライアスロン、パラトライアスロンそして関連マルチスポーツの普及と発展にご支援とご協力をいただき、心から御礼を申し上げます。この度「第2回日本アクアスロン選手権(2024/東京・海の森)」が開催されるにあたり、トライアスロンファミリーを代表して、皆様を歓迎申し上げます。

東京都の新たなスポーツ振興の拠点となっている「海の森水上競技場」は、東京2020オリンピック競技大会のレガシーであり、この地で開催される日本アクアスロン選手権は本年度で2回目の開催となりました。真っ直ぐに続く都心のシーサイドコースで展開される白熱のアクアスロン日本一決定戦は、これからの更なる競技の成長や発展に向けた重要な位置づけを担っており、参加される選手や関係者の皆様も大きな期待をされている事と思います。

本日、全国各地から集まる選手の皆さんは、フェアプレイ精神、大会開催にご尽力いただいている方々への敬意の念を持ち、アクアスロンを存分に楽しんでください。

私たち競技団体は、「トライアスリートのために」という概念を貫くために、本年(2024年)から米国や欧州のトライアスロン先進国と同様にJTU主催・共催・後援大会に参加するすべての都道府県・学連登録会員者向けに「トライアスロン安全保険」を付与することとしました。今後も大会主催者の皆様と連携し、中央競技団体として大会運営の安全度を高めるとともに、参加選手の家族や友人のために安心した環境を届けられるよう努力し、健全な競技普及発展に努めたいと思います。

*トライアスロン安全保険：<https://www.jtu.or.jp/join/insurance/safetysports/>



最後に、開催に向けてご尽力頂いております、ご関係各位の多大なるサポートに深く感謝申し上げます。本大会が、多くの選手に愛され、より地域の振興に貢献できるよう、引き続きのご支援をお願いするとともに、大会の成功を心よりお祈りいたします。

主催者より

参加選手の皆様、このたびは「東京・海の森アクアスロン2024」にお申し込みをいただき誠にありがとうございます。
この大会プログラム(最終要項)には、本大会に参加される皆様が安全に楽しんでいただくための競技ルールや注意事項等が記載されておりますので、必ず内容をご確認のうえご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本大会開催に向け、ご支援・ご後援・ご協賛・ご協力賜りました東京都はじめとした皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

「東京・海の森アクアスロン」は、都心の公共交通機関だけを利用して参加できるアクセスの良さ、波もなく安心して泳げるオープンウォーター、世界標準のラン・スイム・ランのフォーマット導入、そして、TOKYO2020のレガシー施設を舞台に、初心者から本格志向のエイジグルーパーまでが集う、アクアスロンの普及と振興を目的として2022年より新たに開催された大会です。

そして、日本トライアスロン選手権のクオリファイシリーズでもある「第2回日本アクアスロン選手権」も同時開催されます。アクアスロンの新たな扉を開いた熱き戦いにも是非ご声援をお願いします。

東京都は、市区加盟団体を中心に多くのアクアスロン大会が開催される、全国でも有数のアクアスロンのメッカです。海の森水上競技場が、アクアスロンの新しい賑わいの場となることを期待し、当日の参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人 東京都トライアスロン連合会長
大会会長 大村 真人

大会概要

主 催	：(一社)東京都トライアスロン連合(以下TMTU)
後 援	：東京都、(公財)東京都スポーツ協会、(公社)東京都障害者スポーツ協会、 NPO法人日本ビーチ文化振興協会、(公社)日本トライアスロン連合(以下JTU)、 江東区、江東区スポーツ協会
協 賛	：天乃屋、大森造園建設、大塚製薬工場、ローソン、味の素、Champion System Japan
協 力	：海の森水上競技場管理事務所、深川消防署、昭和大学江東豊洲病院、 JTU東京ブロック協議会、エスビーアール、チームペガサス、ネオシステム、 シーフォース、STJレンテック、豊洲市場氷販、スポーツアシスト、正協印刷
M C	：孫崎虹奈

大会役員

■大会顧問	岩城 光英(JTU会長)
■大会会長	大村 真人(TMTU会長)
■実行委員長	川添 勝(TMTU専務理事、JTU理事)
■レースディレクター	片倉 義之(TMTU)
■技術代表	鈴木 仁(TMTU)
■審判長	阿部 拓希(TMTU)
■C R O	稲子 修(TMTU)
■大会審議委員	鈴木 仁、川添 勝、大村 真人

当日のタイムスケジュール

■ スケジュール

08:00	開門 駐車場へ入場可能
08:00～09:30	選手受付
08:05～09:30	トランジションOpen～Close
09:30～09:45	スイム試泳(必須)
09:45～10:00	スタートセレモニー
10:00～	競技開始
11:10～11:30	表彰式
12:00	日本アクアスロン選手権 女子 スタート
13:05	日本アクアスロン選手権 男子 スタート
14:00	日本アクアスロン選手権 表彰式

ご自身のウェーブは
当日再確認ください。

スタート目安	ウェーブ	No.	カテゴリー	Finish 目安
10：00	第 1	401 ～ 422	スタンダード B1 女子	11：20
10：02	第 2	501 ～ 524	スタンダード B1 男子	
10：04	第 3	525 ～ 548		
10：06	第 4	549 ～ 570		
10：08	第 5	601 ～ 605	スプリント C1 一般女子	11：00
		701 ～ 722	スプリント C1 一般男子	
10：10	第 6	801	スプリント C3 高校生女子	
		901 ～ 910	スプリント C3 高校生男子	
		1001 ～ 1004	スプリント C4 中学生男子	
10：12	第 7	1101 ～ 1102	スプリント C5 パラ	
10：20	第 8	101 ～ 102	スタンダード A1 女子	11：30
		201 ～ 224	スタンダード A1 男子	
		301 ～ 304	スタンダード A2 リレー	

競技距離・表彰対象

■競技距離

スタンダード A1 / A2	スタンダード B1	スプリント C1～5
第1ラン：2.5km (1周) スイム：1,000m (2周) 第2ラン：2.5km (1周)	スイム：1,000m (2周) ラン：5km (2周)	スイム：500m (1周) ラン：2.5km (1周)

※水温22℃未満の場合、スタンダードAタイプはスイム2周、ラン2周(ウェットスーツ着用任意、15.9℃以下の場合はウェット着用義務)に変更となります。水温が32℃以上の場合はスタンダードA1/A2/B1において、水温が33℃以上の場合は全種目においてスイムを中止しランのみの競技となります。

■表彰対象

- ◎スタンダードA1：男子1～3位、女子1～3位
- ◎スタンダードB1：男子1～3位、女子1～3位
- ◎スプリントC1：一般男子1～3位、一般女子1～3位
- ◎スプリントC3：パラカテゴリー毎1～3位
- ◎スプリントC4：高校生男子1～3位、高校生女子1～3位
- ◎スプリントC5：中学生男子1～3位、中学生女子1～3位

※入賞賞品は当日渡しのみとなります。表彰式にて表彰状をお渡しします。

競技に必要な物・支給品

競 技	各自持参	レース当日大会で支給
スイム	●スイムウェア ●ゴーグル ●ウェットスーツ (当日の水温により変更の可能性があるため、ウェットスーツは全種目準備下さい。)	●ナンバーカード 1枚 (ランで前面に表示して競技してください。)
ラン	●ランニングウェア ●シューズ(上半身裸などで走ることは禁止します。)	●スイムキャップ(ウェーブ毎に色が異なります) ●アンクルバンド(計測チップ) 試泳前にお渡しします。

※スイムでウェットスーツを着用しない場合、ナンバーカードをつけて泳ぐことを禁止します。

※ナンバーベルトの使用を推奨します。

※アンクルバンドは、競技中必ず着用してください(着用していない場合は、タイムを計測できないため記録が取れません)。

また、競技終了後Finish地点にて回収いたします。紛失した場合は実費弁償となります。

受付時に支給品をご確認ください(上記以外、協賛協力団体支給品各種、昼食チケット)。

●アンクルバンド：試泳前に配布します。左右どちらの足首につけても構いません。アンクルバンドを受け取りましたら、スタートエリアからの移動はできませんのでご了承ください。

大会(競技)実施の決定等

原則雨天決行としていますが、悪天候の場合は大会当日07:00に競技実施検討会を開催し、開始・遅延・中止等のアナウンスをホームページ上にて行います。

気象状況、天災、官公庁指示等によって、競技の中止、距離短縮、競技距離の変更などもあります。何卒ご理解とご了承のほどお願いします。

熱中症対策について

各地で熱中症で倒れる方が急増しています。睡眠と休養を十分とり、万全の体調で熱中症対策には特に気をつけて臨んでください。以下、熱中症の対策と救急措置をご紹介します。

熱中症とは？【症状などにより次のように分類、熱射病が最も危険】

- ・熱射病（異常体温上昇、言動や意識障害、頭痛・嘔吐・めまい等伴う／体温調節機能失調による）
- ・熱けいれん（筋肉の痛みを伴った発作的けいれん／塩分不足による）
- ・熱疲労（激しい口渇・尿量減少・めまい・感覚異常／大量発汗による血液濃縮）
- ・熱失神（めまい・失神・顔面蒼白、呼吸回数増加／血管拡張により血圧低下し脳血流減少）

対策は・・・？【選手の心がけ】

- ・早め早めの水分補給（これに尽きます。ノドが乾いたと思ったら手遅れです!）
- ・冷水をかける
- ・通気性のよいウェアや帽子を着用

救急措置は・・・？【現場の対応】

- ・ウェアを緩めて涼しい所に安静にする。（安静中は一人にさせない）
- ・足を高くし、手足を抹消から中心部に向けてマッサージするのも有効である。
- ・水やスポーツドリンクの摂取により、水分や塩分を補給する。
- ・症状が軽いと思われる場合でも、軽視せずに医師による診療を受ける。

※本大会では競技終了後も給水できるようフィニッシュエイドに給水所を設けますので、各自で適宜給水を行ってください。なお、競技終了後にフィニッシュエイドで給水する際は、環境への配慮から「マイカップ・マイボトル」の持ち込みを推奨いたします!

その他

■ 昼食

参加選手の皆様には、「昼食用の交換チケット(500円分)」を用意しております。大会当日の受付にてお渡ししますので、フィニッシュ後にキッチンカーにてお引換えください。食事はグラウンドスタンドの座席又は艇庫棟2階の食堂(180席)をご利用ください。それ以外での食事はしないようにお願いします。

■ 大会による補償

引受保険会社：AIG損害保険株式会社

補償内容：死亡・後遺障害1,500万円、入院給付金日額5,000円(180日限度)、通院給付金日額2,500円(90日限度)、賠償責任保険(支払限度額)5億円

また、2024年度トライアスロン都道府県競技団体・学連登録者にはトライアスロン安全保険が自動付帯します。

詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.jtu.or.jp/join/insurance/safetysports/>

■ 保険証の持参について

選手の方は、当日、健康保険証を持参してください。

■ トイレ

グラウンドスタンド棟1階にあるトイレをご利用ください。また、艇庫棟1階の更衣室近くにもトイレがあります。

■ 更衣

更衣室は艇庫棟1階にあります。選手はシャワーも無料で利用できます。

■ ゴミ

ご自身のゴミはお持ち帰りいただきますようご協力をお願いいたします。また極力ゴミを排出しないよう、エコ活動にもご理解をお願いいたします。なお、大会で用意したお弁当の空き箱については配布場所にて回収いたします。

■ 写真撮影

大会主催者から特別に許可を得た業者等が写真撮影を行います(スタッフ用ビブスを着用しています)。業者が撮影した写真は、インターネットで購入が可能となります。

また、大会TOなどが記録等のために写真を撮影することがあります。撮影された写真の帰属はTMTU及び大会実行委員会とさせていただきます。TMTUのSNSやホームページ等で使用させていただく場合があります。写真の公開が不都合な選手は、事前にTMTU事務局にお申し出ください。

■ 荷物預かり

レース準備後、レースに必要な荷物は有料(200円)でお預かり可能です。

大会受付までお申し出ください。(貴重品はお預かり対象外となります)

■ 競技説明会の資料確認

競技説明資料はHPに掲載いたします。資料中のキーワードを「(カッコ内削除)」にキーワードが出てきますので、その画面を撮影するかキャプチャを実施頂き、「受付時にご提示ください。そのことをもって競技説明資料を確認したものとみなします。

大会参加の方へ

■受付について

- ◎どのカテゴリーの方も、開門時間以後は会場に入場できます。選手受付については、スケジュールに記載のカテゴリーごとの時間に、受付へお越しください。
- ◎受付場所は、グランドスタンド棟1階(駐車場側)にあります。

■選手待機場所

- ◎グランドスタンドの座席を、選手の待機場所とさせていただきます。

■レース前の準備

- ◎ナンバーカードを1枚、ラン競技で前面に表示してください(ナンバーベルト推奨、大会側でもゴムベルトを若干用意、安全ピンの使用は禁止します。トランジションなど素足で歩く場所があり危険防止のため)。
- ◎受付前に、両手の甲(もしくはウェット着用時に見える両腕箇所)にレースナンバーをご自身でナンバリングしてください。受付でチェックを行います。

■大会ルールについて

- ◎基本的に「JTU競技規則(2019年1月改訂版)」に従って実施いたします。また、この最終要項に記載されている事項をローカルルールとして採用します。協議が必要な事項が発生した場合は、審判長の裁定及び審議委員会にて判断いたします。

■ユニフォームルールについて

- ◎フロントジッパー、バックファスナーの両タイプのウェアが使用可能です。(フロントジッパーに関しては、ジッパーの長さは40cm以内。フロントジッパーは、ジッパーを閉める必要がある最後の200mを除いて、競技中に胸骨の端まで外す事ができますが、胸骨より下までは下げられません。)

■競技参加の流れ

<スタンダードAタイプ>

- ◎受付を済ませ、選手待機場所にて準備してください。艇庫棟1階の更衣室を利用することが可能です。
- ◎トランジションオープンの時間になりましたら、競技に必要なもののみをトランジションにセットしてください。
- ◎試泳は必須となります。スイムスタート地点から試泳が可能です。
- ◎スイム試泳後は第1ランができる準備を行い速やかにランスタートエリアへ移動、それ以降ランスタートエリアから離れることはできませんのでご注意ください。
- ◎スタートはウェーブ毎の一斉スタートとなります。TOの指示に従って整列し、審判ホーンの合図とともにスタートとなります。
- ◎第1ランでは、ナンバーカードを着用して競技してください。また、スイム用具(キャップやゴーグル)を持ってラン競技をすることは禁止です。TOが発見した場合は警告の対象となりますのでご注意ください。
- ◎トランジション1(第1ラン→スイム)では、ナンバーカードを外し、スイムの準備をしてスイムスタート地点へ向かってください。スイム競技でウェットスーツの着用は任意ですが、ウェットスーツ未着用の場合、ナンバーカードをつけてスイム競技をした場合は警告の対象となります。海へは足から入水してください。
- ◎トランジション2(スイム→第2ラン)では、ナンバーカードを前面に見えるように着用し、ランの準備をしてランスタートしてください。スイム道具を持ってラン競技をすることは禁止です。第1ラン同様に警告の対象となります。
- ◎フィニッシュ後、アンクルバンドをフィニッシュエリアで回収します。
- ◎リレーゾーンはトランジションの脇に設置します。リレーチームの次の選手は、同じチームの競技中の選手の状況を確認して、ご自身の判断でリレーゾーンにお越しください。その際、ご自身の競技ができる準備をして集合してください。
- ◎リレーチームのアンクルバンドは一つです。リレーゾーンでアンクルバンドを次の選手に必ず引き継いでください。
- ◎スタンダードA1タイプはウェット着用禁止(A2は着用任意)ですが、競技開始1時間前の水温が22℃以下の場合、スタンダードAタイプはSwim1,000m-Run5kmに変更となります。ウェットスーツ着用任意、15.9℃以下の場合にはウェット着用義務となるためウェットスーツを準備するようにしてください。
- ◎水温が32℃以上の場合にはスイムを中止しランのみの競技となります。

<スタンダードBタイプ及びスプリントCタイプ>

- ◎受付を済ませ、選手待機場所にて準備してください。艇庫棟1階の更衣室を利用することが可能です。
- ◎トランジションオープンの時間になりましたら、競技に必要なもののみをトランジションにセットしてください。
- ◎パラの部、中学生の部はウェットスーツの着用が義務(それ以外は着用任意)となっています。

- トランジションの準備ができれば、艇庫前でアンクルバンドを受け取り、スイムエリアへ移動し試泳を行ってください。試泳は義務となります。
- 試泳が終了したら、スイムスタート待機エリアにて待機してください。
- スタートは水中からのフローティングスタートとなります。ウェーブ每一斉スタートとなりますので、TOの指示に従ってコースロープ沿いに整列し、ホーンの合図とともにスタートとなります。
- トランジション(スイム→ラン)では、ウェットスーツ、スイムキャップ、ゴーグルを、大会で準備したカゴの中に入れてください。カゴの外に置いたままになっていた場合、警告の対象となります。ご注意ください。
- ラン競技では、ナンバーカードを前面に見えるように着用し、ランの準備をしてランスタートしてください。スイム道具を持ってラン競技をすることは禁止です。TOが発見した場合は警告の対象となります。ご注意ください。
- フィニッシュ後、アンクルバンドを回収します。
- 水温が32℃以上の場合はスタンダードBタイプにおいて、水温が33℃以上の場合は全種目においてスイムを中止しランのみの競技となります。

<カテゴリー共通>

- この大会ではスイムについては選手の安全にためスタンダード30分、スプリント15分(33℃以下の場合)の時間制限を設けています。また、フィニッシュ目安を設けており、ラン個別の競技でも極端に時間がかかるなど、安全と大会運営に支障があると審判長が判断した場合は、競技を中止していただく場合があります。ご了承ください。
- ラン競技ではキープレフトを厳守してください。ただし、一部海沿いを走るコースになります。コースの端に寄りすぎると海に落下する危険がありますのでご注意ください。
- エイドステーションはランコースに3箇所取れるようになっています。早めに水分補給をするなど脱水症状対策をお願いします。また、使用したコップは、その場で投げ捨てず所定のゴミ箱に捨ててください。放棄すると海に落下し、回収できないゴミとなる可能性があります。ご協力ください。なおエイドステーションには水を用意します。
- スイム周回数、ラン周回数はご自身で管理してください。周回不足のままフィニッシュした場合はDNF(競技の途中棄権)となり、コースへの復帰はできませんのでご注意ください。
- ラン競技中は、競技者によるイヤホンの使用やスマホ等での写真・動画撮影は禁止します。
- 大会スタッフへの暴言や選手同士での妨害行為など、本大会参加に相応しくない行為があった場合、該当する選手はDSQ(失格)となります。スポーツマンシップに乘っ取り、笑顔でフィニッシュできるよう、皆様のご協力をお願いいたします。
- 暑い日々が続いております。熱中症には十分にご注意いただき大会にご参加ください。前日までに体調を整えていただき、こまめな水分補給など対策をお願いいたします。また、競技中も体調の不良を感じましたら、お近くのTOに声をかけていただき、勇気あるリタイアをお願いします。

<スキップについて>

本大会では、受付時の事前申告、スイム試泳後(競技スタート前)の申告により、スイムスキップが可能です。スキップを希望される選手は、お近くのTOに申告して、アンクルバンドを一度お預けください。

スタンダードAの場合、スキップ後は第2ランのみ参加していただきます。それ以外のカテゴリーについては、ラン競技にご参加可能です。

スキップの申告をされた場合、記録上はDNFとし、参加したランのタイムのみ記録いたします(リザルトでは「SKIP」と表示します)。

スキップを申告された方は、TOの指示に従って、指定された時間に、スタンダードAタイプのランスタート付近に集合してください。

<レスチューブレンタルのご案内>

本大会では、スイムにおける選手の安全確保の一環として『レスチューブ』の採用・推奨をいたします。

本大会にてレスチューブの装着を希望する選手は、以下のHPにてレンタル内容等を確認の上、申し込みください。

[RESTUBE日本総代理店 株式会社ABCデザイン]

<http://restube-jpn.com/news/uminomori2024-1/>

<【参考】レスチューブ使用における本大会のローカルルールについて>

- ・本大会では、「レスチューブ」の装着を認めます。(ITU、JTUルール適用)
- ・使用した(膨張させた)場合も、競技は継続できますが、参考記録となります。(リザルトは「RES」と表示)
- ・膨張し、休息する場合、または、膨張したままスイムを継続する場合、他の選手の邪魔にならないよう気を付けてください。

東京海の森アクアスロン 2024 スタートリスト

第1ウェーブ スタンダードB1 (女子)

レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属
401	池田 榛名	いけだ はるな	2006	東京女子体育大学 トライアスロン部
402	山崎 湮奈	やまさき りな	2005	東京女子体育大学 トライアスロン部
403	関 好華	せき このか	2004	東京女子体育大学 トライアスロン部
404	栗島 果歩	くりしま かほ	1998	
405	風間 南実	かざま みなみ	1996	
406	前田 琴	まえだ こと	1993	
407	門脇 香子	かどわき きょうこ	1992	
408	一瀬 順子	かずせ じゅんこ	1979	御殿山トライアスロンクラブ
409	野村 美穂	のむら みほ	1979	スマイルラボ蓮田
410	ボグダノヴァ タチアナ	ボグダノヴァ タチアナ	1979	
411	小柳 友香理	こやなぎ ゆかり	1978	青山トライアスロン倶楽部
412	佐久間 淑江	さくま よしえ	1977	ARC
413	山本 しの	やまもと の	1976	
414	南 志麻子	みなみ しまこ	1976	
415	本澤 実央	ほんざわ みお	1973	
416	春日 伊都子	かすが いつこ	1968	
417	丸崎 恭子	まるさき きょうこ	1966	
418	鈴木 慶子	すずき けいこ	1965	
419	VONDEROSTEN BEATE	フォンデアオステン ベアーテ	1963	
420	渡辺 公子	わたなべ きみこ	1961	
421	漆原 美晴	うるしばら みはる	1957	
422	星野 ひとね	ほしの ひとね	1953	

第2ウェーブ スタンダードB1 (男子)

レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属
501	小野 陽平	おの ようへい	2006	横浜国立大学
502	佐川 琥太郎	さがわ こたろう	2005	横浜国立大学
503	河内 皓	かわち こう	2005	
504	徳永 明日希	とくなが あすき	2004	横浜国立大学 トライアスロン部 PERIGO
505	伊藤 心真	いとう まこと	2003	
506	南方 政伸	みなかた まさのぶ	2003	横浜国立大学
507	小田 豊	おだ ゆたか	2000	
508	白水 穰	しろみず じょう	1999	
509	野添 拓人	のぞえ たくと	1999	
510	栗山 卓也	くりやま たくや	1998	
511	岡野 樹	おかの たつき	1992	
512	中濱 洋	なかはま ひろし	1989	
513	柳田 優樹	やなぎた ゆうき	1988	横浜鉄人クラブ
514	和田 雄太	わだ ゆうた	1987	
515	中村 貞和	なかむら さだかず	1987	東京都不動産鑑定士協会
516	佐々木 克幸	ささき よしゆき	1984	
517	山下 正樹	やました まさき	1983	
518	岸 智則	きし とものり	1983	
519	北村 浩幸	きたむら ひろゆき	1982	八王子トライアスロン連合
520	岩田 憲幸	いわた のりゆき	1980	
521	平田 裕	ひらた ゆたか	1980	
522	井上 知英	いのうえ ともひで	1979	
523	星谷 雄太	ほしや ゆうた	1979	
524	阿久津 充智	あくつ たかとも	1978	

第3ウェーブ スタンダードB1 (男子)

レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属
525	田中 克行	たなか かつゆき	1978	
526	今 新之助	こん しんのすけ	1976	釈迦力
527	鈴木 健悟	すずき けんご	1976	釈迦力
528	片岡 弘至	かたおか こうじ	1977	
529	山田 浩一郎	やまだ こういちろう	1976	
530	三浦 健二	みうら けんじ	1976	
531	園田 竜	そのだ りょう	1976	
532	南 章行	みなみ あきゆき	1975	
533	鍋島 聡一郎	なべしま そういちろう	1975	
534	山下 一臣	やました かずとみ	1974	
535	栗原 薫	くりばら かおる	1974	Crazys
536	木村 佳宏	きむら よしひろ	1974	I-STORM
537	高野 実純	たかの ますみ	1973	
538	諸橋 峰雄	もろはし みねお	1973	アヤトTS
539	内山 和夫	うちやま かずお	1973	MONSTER TRIATHLON CLUB
540	小松 拓也	こまつ たくや	1972	稲毛インター
541	田中 宏侍	たなか こうじ	1972	
542	五十嵐 敬次郎	いがらし けいじろう	1973	
543	指村 貴弘	さしむら たかひろ	1971	釈迦力
544	荅田 隆正	まきた たかまさ	1971	
545	若林 文和	わかばやし ふみかず	1971	
546	久保 健一郎	くぼ けんいちろう	1969	Team J
547	大國 博英	だいこく ひろひで	1969	
548	島田 容男	しまだ やすお	1969	

第4ウェーブ スタンダードB1 (男子)

レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属
549	橋本 洋一	はしもと よういち	1968	八王子市水泳連盟
550	川合 智二	かわい さとし	1967	KAWAI DC
551	本間 学	ほんま まなぶ	1967	
552	杉澤 正也	すぎさわ まさや	1966	チームケنز
553	平山 康弘	ひらやま やすひろ	1966	
554	大島 洋介	おおしま ようすけ	1966	江東区トライアスロン連合
555	米山 直志	よねやま なおし	1965	
556	岸 和由	きし かずよし	1965	
557	境 広志	さかい ひろし	1965	チームケンズトライアスロンスクール
558	磯崎 浩太郎	いそざき こうたろう	1965	
559	永井 啓介	ながい けいすけ	1964	大倉山シニアチーム
560	小野 利幸	おの としゆき	1963	
561	野村 均	のむら ひとし	1962	スマイルラボ蓮田
562	堀内 浩司	ほりうち こうじ	1962	
563	竹田 秀男	たけだ ひでお	1962	
564	小森 健史	こもり たけし	1961	
565	岸 直邦	きし なおくに	1960	どんぐりころころ
566	吉富 哲也	よしとみ てつや	1960	Crazys
567	遠山 晴之	とおやま はるゆき	1959	御殿山トライアスロンクラブ
568	庄司 功	しょうじ いさお	1956	
569	峰田 正隆	みねた まさたか	1943	
570	佐々木 辰徳	ささき たつのり	1980	

第5ウェーブ スプリントC1 (女子/男子)

レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属
601	野村 真由	のむら まゆ	2003	
602	富士川 怜奈	ふじかわ れな	1999	
603	鈴木 ゆかり	すずき ゆかり	1975	
604	野澤 恵子	のざわ けいこ	1974	
605	入江 里香	いりえ りか	1969	チームケنز
701	小畑 悠樹	おばた ゆうき	2003	
702	川島 鎌一	かわしま けんいち	2000	
703	易本 健志	やすもと たけし	2000	
704	小堀 雄大	こぼり ゆうた	1996	
705	山田 敦也	やまだ あつや	1997	トライアスロン部
706	上村 勇斗	かみむら ゆうと	1994	
707	阿久根 成哲	あくね まさのり	1992	
708	中瀬 健太郎	なかせ けんたろう	1983	
709	飯尾 良博	いいお よしひろ	1981	オークハウス
710	村田 悠治	むらた ゆうじ	1976	
711	政田 智	まさだ さとし	1975	
712	宮崎 暁男	みやざき あきお	1975	
713	野本 剛輝	のもと まさき	1975	
714	今井 英大	いまい ひでひろ	1974	
715	高梨 紀	たかなし おさむ	1972	
716	堀越 和彦	ほりこし かずひこ	1969	日本学園トライアスロン部
717	清野 雅之	せいの まさゆき	1968	
718	齋藤 茂	さいとう しげる	1966	
719	星 和宏	ほし かずひろ	1961	
720	江成 良治	えなり りょうじ	1960	
721	鈴木 信夫	すずき のぶお	1959	
722	関 裕史	せき ひろし	1973	

第6ウェーブ スプリントC3/C4 (高校生女子/男子、中学生女子/男子)

レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属
801	油井 琴子	ゆい ことこ	2007	捜真女学校
901	佐藤 圭悟	さとう けいご	2009	
902	幡中 桜佑	はたなか おうすけ	2009	日本学園高等学校
903	泉田 秀太朗	いずみだ しゅうたろう	2008	日本学園高校トライアスロン部
904	白輪 青空	しらわ そら	2008	日本学園高等学校
905	仙田 拓也	せんた たくや	2008	日本学園
906	小山 真立	こやま まりゅう	2008	日本学園高等学校トライアスロン部
907	碧山 悠夏	あおやま ゆうな	2008	日本学園高等学校
908	高橋 駿介	たかはし しゅんすけ	2008	
909	油井 得人	ゆい えると	2007	日本学園トライアスロン部
910	高瀬 歩武	たかせ あゆむ	2006	日本学園トライアスロン部
1001	関口 英	せきぐち てる	2011	日本学園中学校
1002	福田 晴	ふくだ はる	2010	日本学園トライアスロン部
1003	ABSOUS Clement	あぶすー くれもん	2010	青山トライアスロン
1004	風間 甲斐	かざま かい	2010	日本学園トライアスロン部

第7ウェーブ スプリントC5 (パラ)

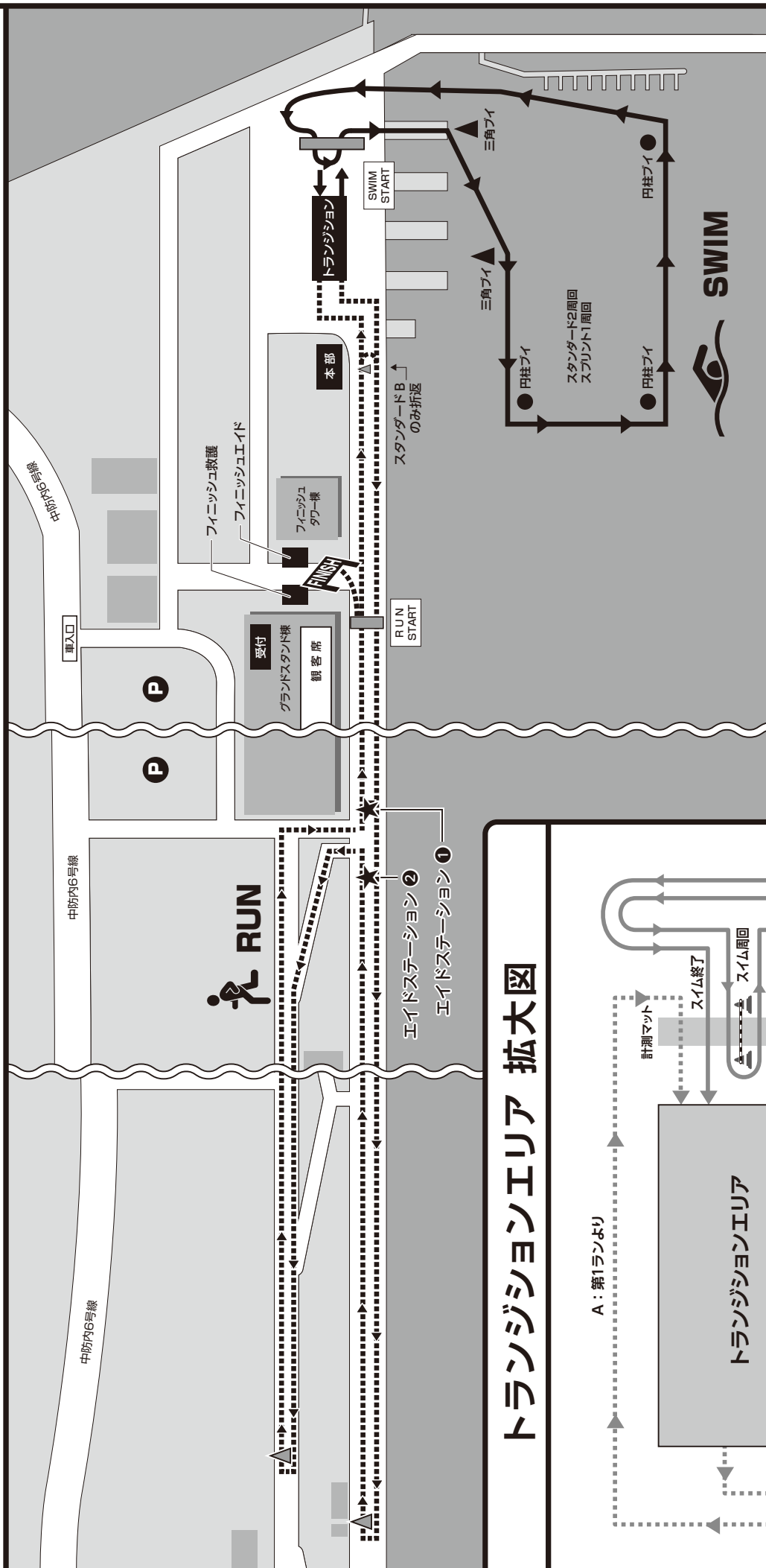
レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属	カテゴリー
1101	牧田 真一郎	まきた しんいちろう	1977	三菱商事	TRI4
1102	高橋 勇市	たかはし ゆういち	1965		TRI6
GUIDE	高橋 嘉子	たかはし よしこ	1967		

第8ウェーブ スタンドア1/A2 (女子/男子/リレー)

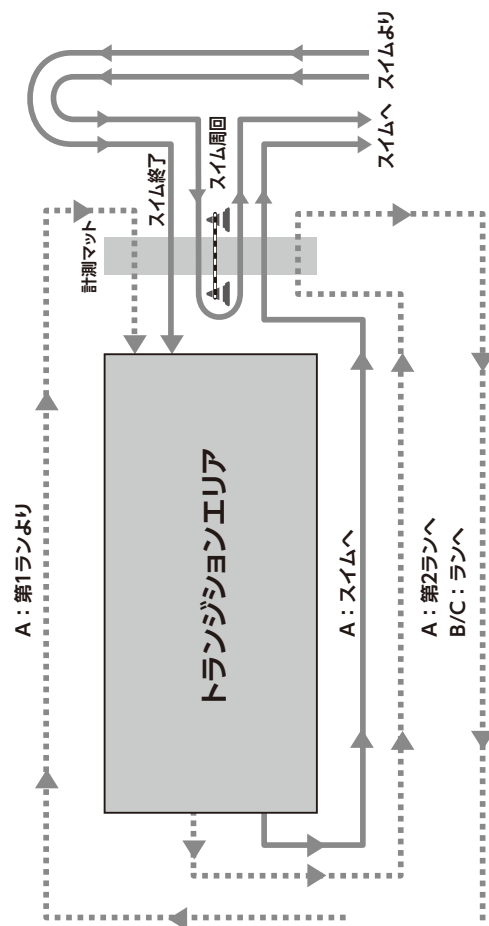
レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	所 属
101	秋山 莉穂	あきやま りほ	2003	東海大学ボンバーズ
102	高木 実穂	たかぎ みほ	1997	
201	須賀 祥太	すが しょうた	2003	東海大学
202	橋本 裕輝	はしもと ゆうき	2003	
203	宮下 陽翔	みやした はると	2003	東海大学BOMBERS
204	小林 樹	こばやし いつき	1996	
205	竹内 友哉	たけうち ともや	1995	
206	岩瀬 鉄也	いわせ てつや	1995	物林株式会社
207	能丸 将	のうまる まさる	1994	
208	鈴木 颯太	すずき そうた	1993	
209	前田 祐聖	まえだ ゆうせい	1992	
210	阿久津 将	あくつ まさし	1991	MAESTRO
211	吉村 達朗	よしむら たつろう	1988	
212	小林 一博	こばやし かずひろ	1984	学校法人立正大学学園
213	荻堂 盛雄	おぎどう もりお	1983	
214	内海 敬大	うつみ たかひろ	1982	
215	後藤 公成	ごとう きみなり	1982	
216	小口 裕也	こぐち ゆうや	1981	
217	橋本 公山	はしもと こうざん	1980	
218	村山 岳史	むらやま たけし	1980	
219	ABSOUS Olivier	あぶすー おりういゑ	1976	Triathlon in Tokyo
220	石塚 智康	いしづか ともやす	1973	イシヅカデンタル
221	白石 敏雄	しらishi としお	1971	ボボロAC
222	小森 研一	こもり けんいち	1967	
223	小西 裕二	こにし ゆうじ	1962	青山トライアスロン倶楽部
224	生田 哲	いくた てつ	1956	

レースNo.	氏 名	よ み が な	YOB	種 目	チーム名
301	直江 礼華	なおえ あやか	1988	スイム	直江夫婦
	直江 一彌	なおえ かずや	1986	ラン	
302	石田 和之	いしだ かずゆき	1974	ラン	能登にエールを (金町トライアスロンクラブ)
	石田 淳子	いしだ じゅんこ	1980	スイム	
303	原 勝彦	はら かつひこ	1974	ラン	ハラタカハラ
	高鹿 理恵	たかし か りえ	1977	スイム	
304	巴山 美香	はやま みか	1974	ラン	チームH&S
	佐生 和之	さそう かずゆき	1976	スイム	

競技コース図

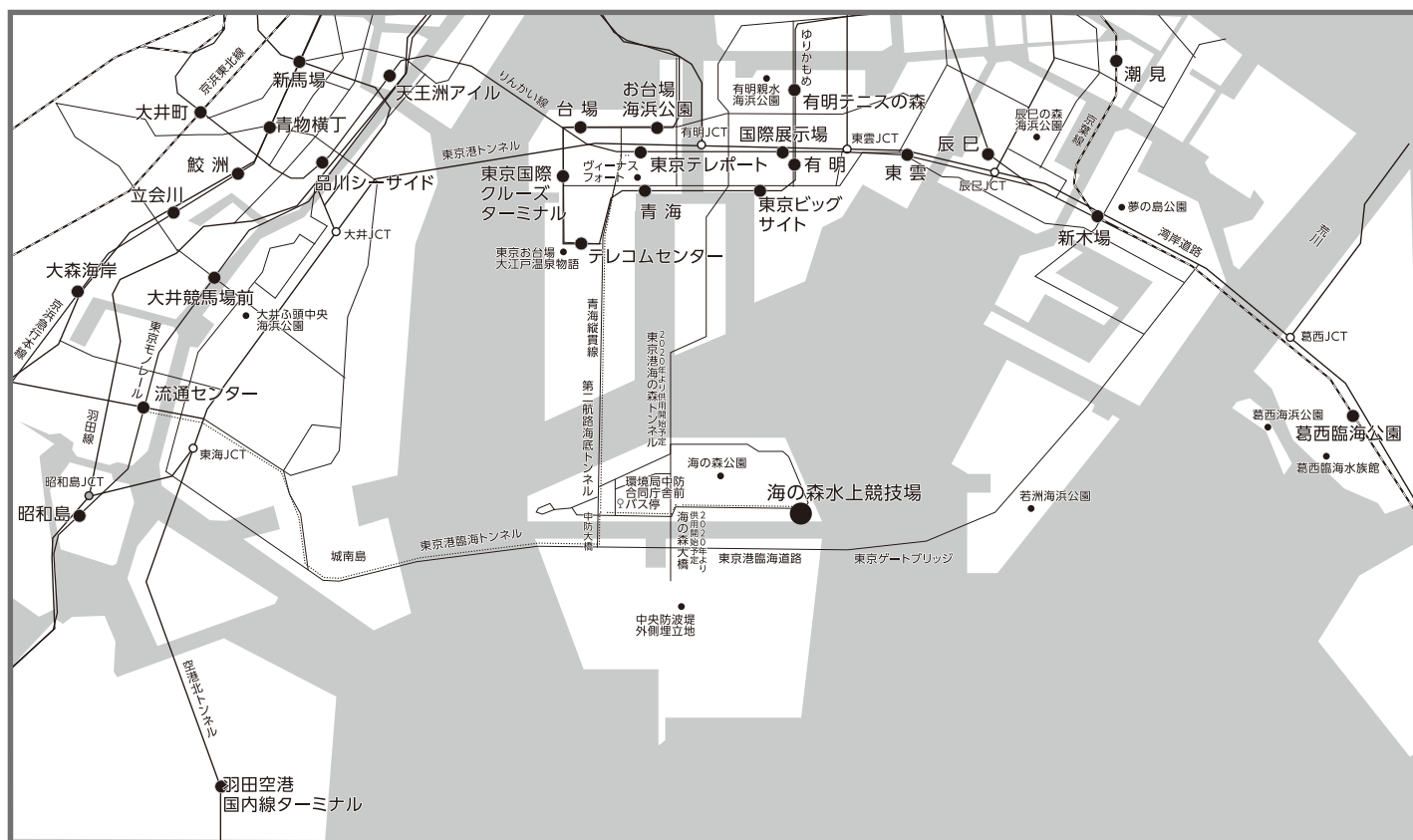


トランジションエリア 拡大図



- RUN**>
- SWIM** —————>
- エイドステーション** ★
- 折り返し** ▲
- 計測マット** ————

会場周辺MAP



海の森水上競技場（東京都江東区海の森3丁目6番44号）

■ 交通アクセス

- 会場にはお車あるいはバス（専用および臨時）でお越しください。自転車や徒歩での来場はできない立地となります。ご注意ください。
- 駐車場は300台以上駐車可能です。（駐車料金は大会参加費に含まれます）
- 国際展示場駅もしくは有明駅から会場まで、無料シャトルバス（1時間に1本）がごぞいます。

無料シャトルバス時刻表（6/16アクアスロン大会）

国際展示場駅前 発 (乗場：ジャガー・ランドローバー店舗前)	6:45	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
海の森水上競技場 発 (乗場：グランドスタンド棟前)	7:10	8:40	9:40	10:40	11:40	12:40	13:40	14:40	15:40	16:40	17:45



一般社団法人

東京都トライアスロン連合

【大会ホームページ】 <https://www.msps.jp/uminomoriaq03/>

【大会に関する問い合わせ】 大会ホームページのお問い合わせフォームにご入力ください。

【当日の緊急連絡先】 090-5429-6440(TMTU鈴木) 090-8807-0500(TMTU片倉)
090-9973-5744(TMTU大村) 090-3313-8374(TMTU川添)